第2回メルマガ

創刊第2号

第2回メルマガのテーマは、懐かしい場所の思い出です。
執筆者の皆さんには、思いを込めてエピソードを綴っていただきました。お昼時に通ったあの店この店。定番の「学食」「志津屋」「やた」「王将」、休講の時に一服していたあの“サ店”、中秋の名月の嵐山や遠く修学旅行九州に残した思い出も。皆さんも胸に秘めた思い出を同窓会で皆で語ってみませんか？

11月7日（土）12時30分から、「古希同窓会」を河原町御池ホテルオークラで開催します。

6月10日（木）第一回堀ゴルコンペが行われ、12名が参加しまして盛上りました。代表幹事の柴田昌利君が見事優勝を飾りました。9月10日（木）第二回開催予定、参加者募集中です。ご希望の方は、今回発信の案内文記載の柴田君案内先へご連絡ください。

6月末14名参加の下、京都・名古屋・東京から台湾に集結、現地駐在の小泉（旧姓鈴木）美貴子さんアテンドの下に、台北を満喫しました。在学中、一度もしゃべったこともなく、顔と名前も一致しなかった人たちとすぐに仲良くなり懐かしい話に花が咲きました。

＜第二回メルマガ目次（敬称略）＞

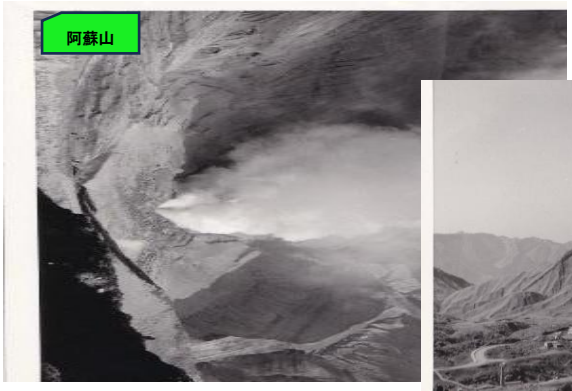
1P	頭書と目次
2P	修学旅行残記：小北修巳
3P	お昼ご飯の思い出：岡田健志
4P	てんきっそだい：荒木俊光
5P	台湾で高校時代の懐かしい話で盛り上がった女子たち まとめ：清水（馬場崎）典子
6P	高校時代の思い出の場所：桜井一
7P	思い出の演劇部部室と喫茶店あん：竹澤（熊谷）卓子
8P	バラゴンスピーカー：奥村要二
9P	私はパンが好きだ：北村（岡本）三鈴
10P	堀川高校旧校舎見取り図
11P	高一の仲秋の名月：大和田敬人
12P・13P	堀川高校思いであれこれ：刑事コロンボとその仲間たち
14P	今後のスケジュールと編集後記

修学旅行残記

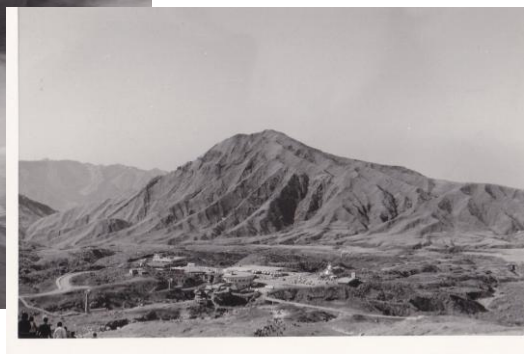
小北修巳

高2の時に九州方面へ修学旅行に行きましたよね。新幹線に乗り、長崎の平和記念公園・浦上天主堂や大分の別府温泉、熊本の熊本城・阿蘇くじゅう高原などを訪れたと思います。かなり古めかしい旅館に泊まった際には、就寝時間後に旅館内を探索したり、お化け話で盛り上がったことが思い出されます。確か旅行委員会のメンバーが“旅のしおり”なるものを作ってくれました。その中に主にフォークソングの歌詞もたくさん載せていただいていました。
バス行程では車内カーテンを閉め、寝るか歌うか騒ぐかのいずれかでバスガイドの話は注意事項以外は聞かなかったように記憶しています。今思えば、たった一回切りの現世での人生、車中からの景色をしっかり見ておけばよかったとも思います。
そのバスガイドは九州産交の新人さんで、初めて修学旅行生に応対したと聞きました。バス行程最終日に、彼女が大泣きしていたのを知ったのは多くはなかったかもしれません。大騒ぎする生徒にうまく対応できなくてさぞ悔しかったのでしょう。
春休みにN君と二人で、そのバスガイドに謝りに行こうと、鈍行列車で長崎の九州産交に行ったのです。彼女はバス乗務で他県に行っているとのことで会えませんでした。しかしそこの所長さんは二人が来るのを事前に聞かれていたようで、宿泊予約していない私たちを自宅に招いてくださり二泊も接待してくださいました。
私にとっては、列車の直立した硬い座席や木の床に新聞紙を敷いて寝転んだり、途中で乗車してきた地元の方が煮物やおにぎりを分けたくださった道中の優しさ、所長さんのお気遣いに、とても感動したことが修学旅行の思い出になっているのです。

フェリーと新幹線を使いクラス単位で2班に別れ九州移動＆帰郷へ



阿蘇山



熊本城

お昼ご飯の思い出

岡田　健志

私の高校時代の昼食は、主に3軒のお店で食べていたような気がします。気がすると言うのは、高校を卒業して50年以上、入学時から考えると55年近く経ち記憶が薄れ、70歳になり記憶力が落ちて（ボケて来て）おりますので、内容に間違えが有るかもしれませんが、そこはこの文章をご覧になった方が、好意で修正してご覧いただければ幸いです。

まず、お店は、高校の食堂、四条大宮の王将、それと「やた」この「やた」と言う高校の北西角にあった、麺類のお店です。「やた」は通称で、正確には「河北弥」と書いた青い色褪せた（歴史を感じる）暖簾が掛かっていたような気がします。なぜ、「やた」と言っていたか思うに、確か大将の名前が弥太（郎）であったので皆「やた」と呼んでいたと思います。

本題のお店の話に戻します。まず、学食の思い出は、午前の授業の終鈴が鳴って、すぐに行かないと行列だったので、授業が早めに終わるか、休講の時によく行ったと思います。玉子丼(ギョクドン)100円前後で、早くておいしかったと記憶しております。

次に四条大宮の王将は、王将の発祥のお店（一号店記念の石碑がお店に埋め込まれています）で、午前の授業が終わったら、高校からお店までダッシュして行き、パオロ（爆羊肉）＆ライス＆餃子をを註文して300円以内だったと思います。また、余談ですが、当時の店長が2013年に王将社長射殺事件で射殺された大東さんでは無いかと仲間内で話しています。

最後に「やた」は、近いのでお昼以外でも、夏はソフトクリームやかき氷で利用していました。バレー部の先輩の息子さんも手伝いをされていました。たまに、そばを食べ終わると虫が浮いていることがありましたが、大将は返金するとは絶対言わずに、「もう一杯食べるか」と言っていたと思います。

のんびりした良い時代でした。

王将　大宮1号店

てんきっそだい

3年4組 荒木俊光

堀川高校の時にいきつけの場所といわれてピンときたのが2つあります。1つは、校庭の隅にあった食堂。細身のおばちゃんと少しふっくらした小柄のあばちゃんが手際よく作ってくれました。3時間目と4時間目の間に走って行って、注文して食べて帰ってくる。10分くらいの出来事。なぜ、昼休みに食べなかったのかは思い出せませんが、昼錬があったためでしょうか。「天きっそだい」は天ぷらときつねのおそばの大盛。天ぷらといっても小さなえびが1つ入ったものと、油揚げがのったおそば。おそばも、日本そばでなく、中華麺のようなものだったと思いますが、それを食べることで大満足していたことを思い出します。その時間に食べにくる人間は決まっていて、おばちゃん達も急いでやってくれてました。おばちゃんありがとうございました。
そして、もう1つは、四条大宮にあったコマボウルのビルかその隣のビルの2階で食べた「カツライス」です。金属のカレー皿で、ご飯の上のトンカツにハヤシライスのルーがかかっていて、美味しくて量があり比較的安かったので、よく食べに行きました。
2つの食堂は、今はもうありませんが、青春の白黒写真として私の頭に残ってます。

台湾で高校時代の懐かしい店の話に盛り上がった女子たち

清水（馬場崎）典子

台風7号・8号が日本に大雨をもたらしていた6月27日・28日に出発し、30日迄古希同窓会有志台湾旅行が催行されました。参加者のパワーで台風を吹き飛ばし、私達は台湾に上陸しました。高校時代一度も同じクラスになったことのない方々とも、あっという間に打ちとけて、旅行中は高校時代の話しで当時に戻ったような盛り上りでした。

みんなで美味しい台湾料理を囲んでいる時には、高校時代によく行ったお店の話しも出ました。

女子は陸橋を渡って買いに行った志津屋のカスクートやカルネ・ジャンボ、タカラブネのシュークリームを食べた事や、学校の北側にあった「ヤタ」のカレーそば、四条油小路近くの「オオガ」のたぬきうどんやソフトクリームなど懐かしい名前が次々登場しました。

ちなみに、たぬきは関東では油揚げとネギの入った餡かけうどんではなく、揚げ玉だけで餡はかかっていなくてガッカリしたと話もありました。

帰宅前にお店に寄って食べ　帰宅後もしっかり夕食を食べた方や、四条大宮の「シャトー」でカレーライスを2皿食べた方もいて、若かかったから出来た事だねと談笑しました。

美味しい台湾料理を食べお酒を飲みながら話しをしている様子は高校時代そのものでした。本当にちょっとした話しのきっかけでタイムスリップし楽しい時間をみんなで過ごすことができました。

11月7日の古希同窓会でおおいに懐かしく楽しいタイムスリップしましょう。

現在の烏丸御池駅構内にある志津屋

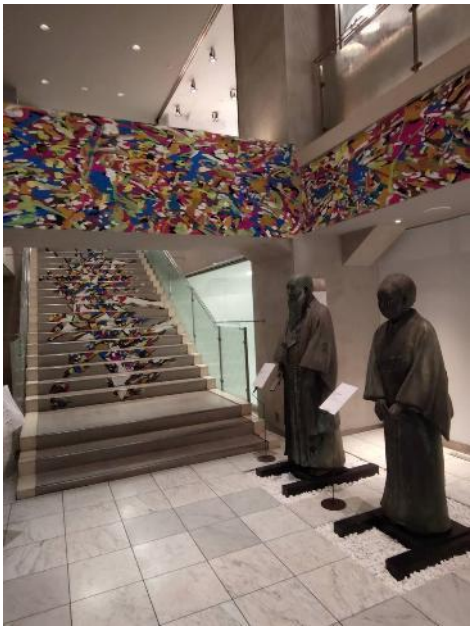
シャトービのあった四条大宮大将軍ビル

高校時代の思い出の場所

櫻井　一

京都市の東側の中学校から市内中心の堀川高校に入学した。河原町より西側はあまり知らない場所で、立ち並ぶデパートや店舗のすべてが新鮮で珍しかった。
その中でも、マクドナルドの関西一号店や、雑誌『ポパイ』でしか知らない「VAN」「JUN」といったファッションブランドがある藤井大丸は、高校生にとって手が届かないまでもあこがれに近い場所だった。
当時ユニクロなどの手頃なブランドもなく、高校生には手の届かない商品ばかりだったが、年に二回行われる「コーナーバーゲン」はそれらが半額以下で買える絶好の機会だった。
あまり服装に興味のなかった私も友人に誘われて行ったが、初めて買ったブランド品のセーターは家で着てみるとサイズが全く合わず、家族に笑われた苦い思い出がある。
その藤井大丸も今年、全面改修のために一時閉館となった。しかし2030年には再開されると聞いている。それまで元気に過ごし、また新しくなった店に行ってみたいと思っている。

藤井大丸



思い出の演劇部部室と喫茶店あん

　校舎に入り、みしみしと軋む木の階段を２階に上がると演劇部の部室がありました。教室をベニヤ板で半分に区切り、その半分は軽音楽部が使っていました。時々、隣からギターの練習が聞こえてきました。
落研と共同の部室で、真ん中に古くて大きい木の机があり、２つのクラブが集まって、よくおしゃべりをしていました。
　その演劇部の友だちと、初めての喫茶店に行ったのが「あん」でした。四条堀川北東角のお店です。もしかしたら、お店の名前は違ったかも。そこで、人生初めて、「喫茶店のコーヒー」を飲みました。苦いだけで、ちっとも美味しくなかった。けれど、これが大人への一歩みたいに思えて、ちょっと気取って飲んでいた高校１年生の自分を思い出します。
　初めてのコーヒーに、精一杯背伸びした私でした。それなのに友だちは、ウインナーコーヒーを注文して、びっくりしたのを憶えています。見たことも聞いたこともなかったウインナーコーヒーが運ばれてきて、普通の顔で飲んでいる友だちが、とても大人に見えました。
　あれから半世紀。とてもとても懐かしい思い出です。

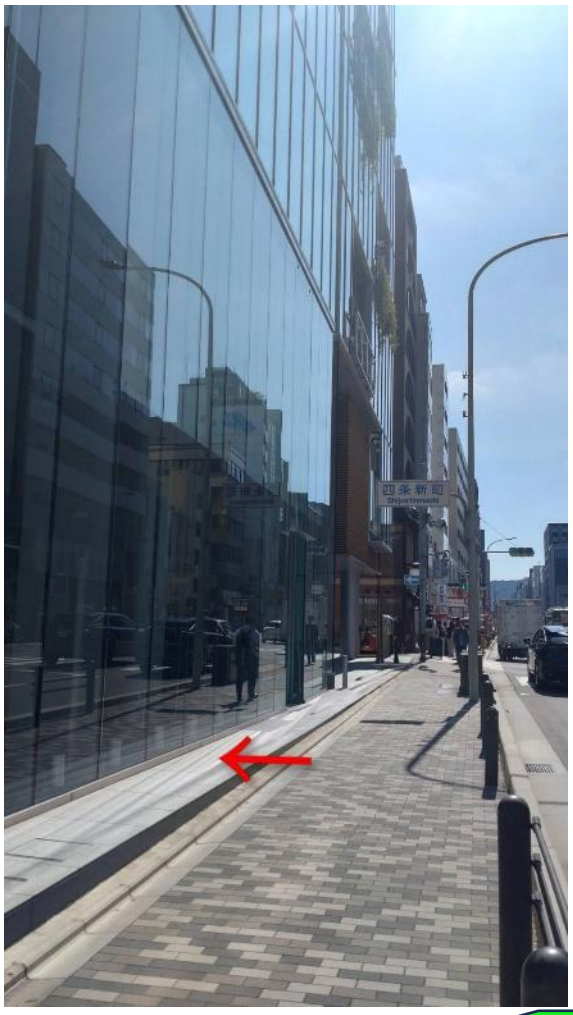
竹澤（旧姓熊谷）卓子

喫茶「あん」の今

パラゴンスピーカー

奥村　要ニ

私にとっての思い出の場所は、高校時代に入り浸っていた喫茶店「こぐま」です。店は京都らしく、うなぎの寝床のように細長く、入口を入ると長いカウンターと右側にはテーブル席が並び、店の一番奥には大きなパラゴンスピーカーが堂々と鎮座していました。「こぐま」に通うようになったきっかけは、当時流行していた井上陽水の曲が大音量で流れていると聞いたことと、近くの池坊短大の学生がたくさん集まる店だという噂でした。高校生だった私には、それだけで十分魅力的でした。休講や放課後には、珈琲一杯で何時間も過ごしました。将来の夢や恋の話、たわいもない話をしながら、パラゴンから流れる音楽に耳を傾ける時間は、何ものにも代え難い青春そのものでした。70歳になった今でも、井上陽水の曲を耳にすると、あの当時の雰囲気とマスターたちの笑顔が鮮やかによみがえります。私にとって「こぐま」は、青春時代のいろいろと詰まったかけがえのない思い出の場所です。



喫茶「こぐま」の今

私はパンが好きだ

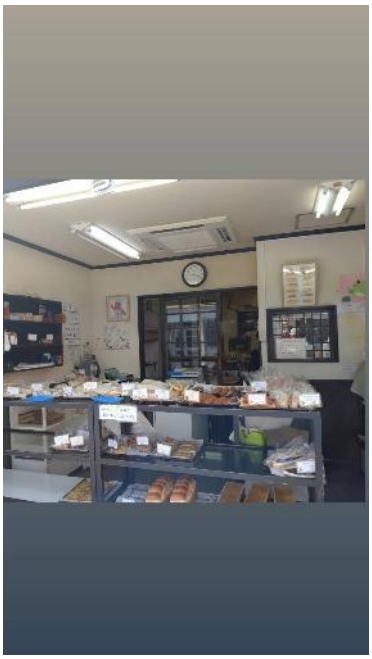
私はパンが好きだ。いや三食パンでもよいのだから大好きという方がしっくりくる。このパン好きが確固たるものになったのは、高校時代ではなかったかと思う。

当時めずらしい焼きたてパンがある「志津屋」が歩道橋を渡ってすぐのところにあった。休講の札をみつけて志津屋に向かうと、同じ考えの同級生に出会ってニッコリ。お弁当を食べた後でもパンは別腹。今思うとおそろしいが・・・

松原まで足をのばせば「まるき製パン所」が。いろいろな種類のロールパンがあって、注文するとおばちゃんが目の前で中身をはさんでくれるので、出来立て感がハンパない。でも売り切れ次第閉店のため、涙した日もあった。学園祭のカフェで、まるきのパンを出して好評だったことも思い出の1つ。

先日、市役所近くの「ててまち」にオープンした2号店に行ってきた。30分ほど並んでやっと買えたパンは懐かしく美味しかった。並んでいた人は、ベビーカーを押した家族、外国人、若者グループ、そして同年代かなと思う人など。私達にとっては「懐かしい味」が若者には「新しい味」として受け止められ、この先も広がり続いていくんだろうと思うと何故か嬉しい。すでに閉店してしまった店が多い中、私達の高校生活に花をそえ、現代も色あせないパン屋さん達にエールを送りたい。ありがとう。

北村(岡本)三鈴



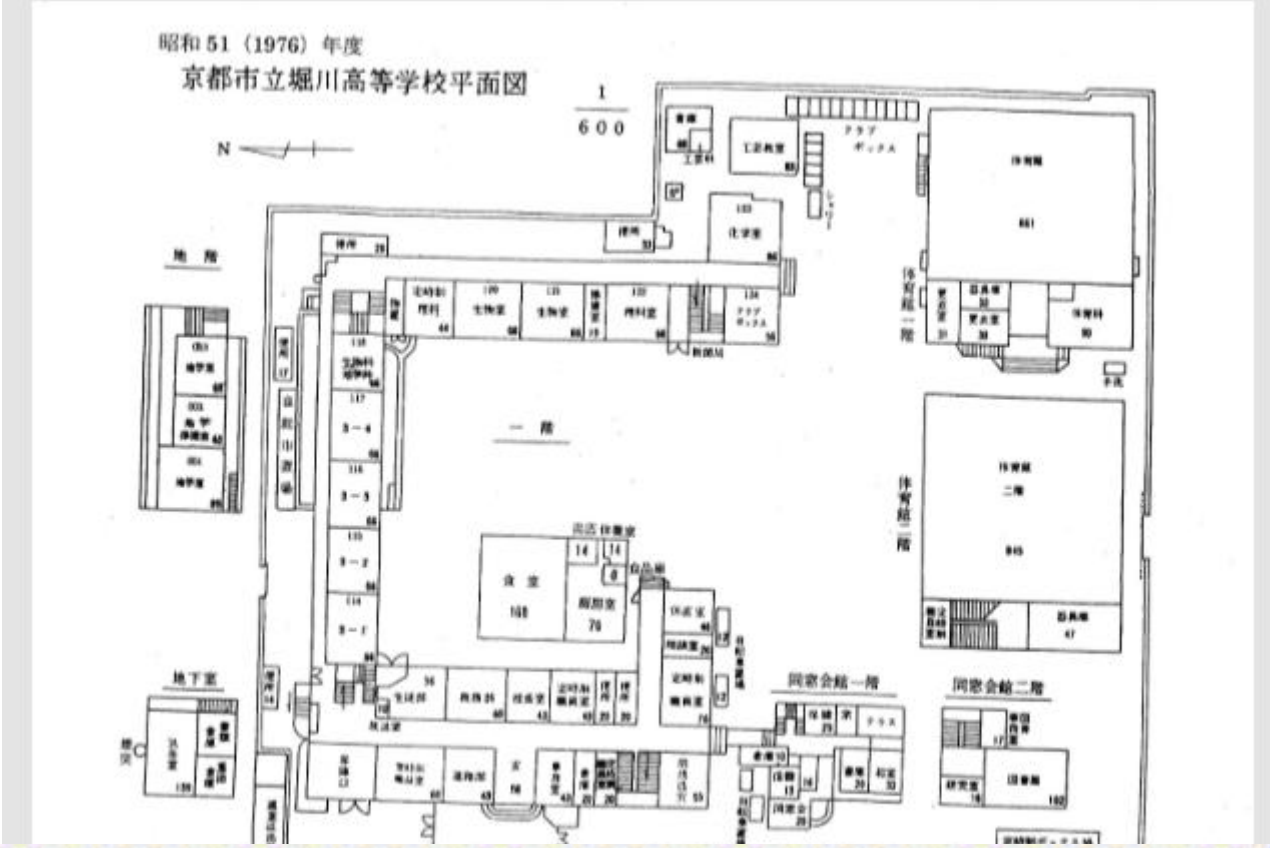
まるき製パン所

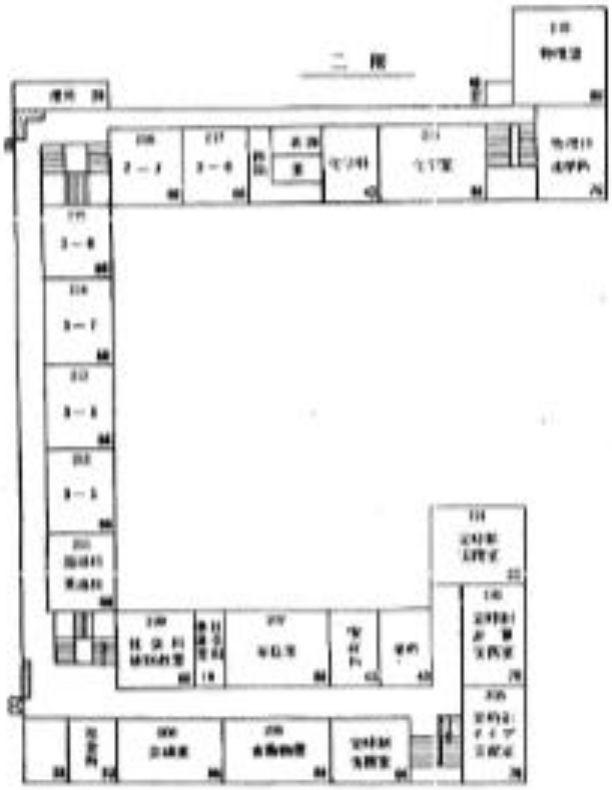
旧校舎お別れ見学会で配布された見取り図

昭和51（1976）年度

京都市立堀川高等学校平面図

1/600





高一の中秋の名月

大和田敬人

月明かりであたりが明るい。平家物語の小督の世界に浸りに行こうか。渡月橋目指して。自転車で出かけた。スマホはないので、地図と懐中電灯を自転車カゴに入れて出発。
御池通はJR二条駅に突き当たり、千本三条の高架下をくぐって三条通をひたすら西へ。当時山陰線から向こうへは自転車で行ったことがない未踏の地。片道1時間くらいのはずだけど、知らない世界は遠かった。
渡月橋は銀色の光があふれていた。鹿の声も琴の音もなく静かだった。月の世界にしばらく浸って帰った。
AIに高一の中秋の名月で、晴れていた日を尋ねると、10月14日土曜日ですって教えてくれた。土曜日だったから行けたのか。今なら電動自転車で、御池通をまっすぐだ。スマホで位置確認もできる。ただ、自転車で10キロ近くはきついなあ。車も怖いが熊が出ても困る。平家物語の世界には浸れそうにない。

http://www.bee-crew.com/arashiyama.html

堀川高校　思い出あれこれ①
（記：刑事コロンボとその仲間たち）

●テニスコート５面が取れる位の小さなグランド、壁打ち専用のコンクリートの壁があった。
●本館隣の古い校舎の2階にある図書館、1階は宿直室・同窓会会館か？
●定時制生徒が来る17時には完全下校、下校放送流れていたかな？　結構休講多かった。
●１年生数クラスは屋上のプレハブ校舎、夏はめちゃくちゃ暑かった。クーラーってどこかの部屋にあった？
●今は撤去された薄緑色の陸橋、バイクに乗って登校する生徒も多くて、先生南京錠持って右往左往。
●本館真ん中の入口は開かずの扉、左右の入口から登下校。
●一年の時はおからの飛び交う文化祭にビックリ、講堂での劇や催物。模擬店も華やかな文化祭、昔の校舎はアールデコでカッコ良かったけど埃だらけの部屋多かった。女学校から始まった校舎でクリーンやったのに、校舎にごめん。
●文化祭前夜祭、ワイヤー使って火をつけるキャンプファイヤー！ワクワクの汗まみれのフォークダンス。
●体育祭は広沢グランドへ、京福電鉄（嵐電）「車折神社前」ってどう読むの？・・くるまざきです。体育祭の時のクラスごとの立看板は壮観やった！
●堀川通りに13:10集合！5.6限はバスに乗って広沢グランドで体育、真冬は雪吹きすさぶ広沢グランドでサッカーで走り回った。
●球技大会は体育館でバスケットボール、グランドにネットを張って9人制バレーボール。
●卒業前の最後の授業はとてもためになる♥教育、みんなわくわくしてすごい集中力。
●西京極陸上競技場で陸上競技大会、コンクリ階段のベンチで座って弁当食べてたら毛虫がポタポタと。
●体育館の2階に全日本のバレーボールチーム？松下電器のチーム？が来て練習、横田がいたような？
●隣のヤタのソフトクリーム、夏にはスイカもご馳走になった。おっちゃん、おばちゃんありがとう！
●四条大宮王将一号店、ソーメンソーハンイーガルコーティ500円でお釣り。ボリュームのワンコインランチ！
●大雨の後はすごい濁流の堀川、昔は台風の時四条堀川の交差点が冠水したらしい。

堀川高校　思い出あれこれ②
（記：刑事コロンボとその仲間たち）

●「槍中村は言うたでぇ～」と名調子の国語の先生。
●チャイムをカセットで録音して授業終わる10分前に鳴らす生徒、先生の対応もお見事！
●鉄道研究会が文化祭で研究誌発行、地学部が観星会、ワンダーフォーゲル部が階段をブロック担いで登山の訓練、落語研究会は文化祭で堀川寄席、自転車同好会を設立、柔道部のアルバイトは大文字の薪運び、野球部は自転車に乗って広沢グランドまで練習に、ボート部は琵琶湖の宇治川まで。
●ぼくらの知っている校長先生は、服部梶蔵先生・水上良市先生・高倉寛太郎先生が昭和45年～54年、その後は恩田修三先生が昭和61年～63年、三宅宗純先生が平成2年～4年。
●堀川音楽高校生徒とは入学式と卒業式だけが一緒。
●平成11年に新校舎が建って古い校舎は全て無くなってしもた💧哀しい💧。ダブルHの校章。
●食堂はグランドの真ん中の木造小屋で横に大きなお庭があった、食堂はテンキッソ大＝天ぷらきつねそば大盛りいくらやったんかなぁ？ギョク丼はいくら？昭和51年に立派な食堂が完成したらしい。
●男子の体育は柔道、剣道があった、体育館１階に緑色の畳を敷いたなあ、柔道着も買ったなぁ。
●声の小さい先生はナショナルの当時人気の拡声機能付きラジオ持参でワイヤレスマイク、「もしもし聞こえますか～？」。突然野良犬が教室に入ってきた時もあった。犬の相手をしてくれたＯ先生に多謝！
●修学旅行は２年の秋、電車で佐世保→長崎→阿蘇→別府→フェリーで大阪へ、サンフラワーではなく小さな観光船だったらしい、瀬戸内海になんも橋がかかってない時代。
●「おじさん緑ください～」と休み時間に、一階階段下の購買部でメロンソーダを生徒と一緒に飲む先生方。
●入学は昭和47年、その数年前に堀川高も学生運動がありバリケードが築かれたと聞いたけど？新聞部もあった。入学試験の日にヘルメットかぶったお兄さんが校長台でマイク演説してたらしい？
●２年生の時、クラスを飛び超えて、民宿はやき荘で、１０人程で自主臨海合宿。一泊￥1,500でカニ攻めに遭った！
●土曜半日授業午後は部活、週休２日はまだまだ遠い夢の世界の話

♪　11月の古稀同窓会で思い出追加したく、エピソードたくさん持ってきて下さいね！

今後のスケジュールと編集後記

11月7日(土)12時30分から、「古希同窓会」を河原町御池ホテルオークラで開催します。皆さんの参加をお待ちしています。

10月30日(金)堀川高校新校舎見学会を実施します。詳細は未定ですが、午後授業終了後となる予定です。同窓会の一週間前、格好の前夜祭となるようにと思っています。

＜今後のスケジュール＞

5月20日	第一回メルマガ発行（発行済）
6月11日（木）	第一回堀ゴルクラブコンペ（実施済）
6月27日～30日	有志京都・東京合同台湾ツアー（実施済）
7月20日	第二回メルマガ発行（今回）
9月上旬	古希同窓会正式案内（予定）
9月10日（木）	第一回堀ゴルクラブコンペ（現在参加募集中）
9月19・20日	宿泊BBQ会（近江舞子）（現在参加募集中）
9月20日	第三回メルマガ発行（予定）
10月30日（金）	堀川新校舎見学会（今後案内）
11月7日（土）	古希同窓会（12時30分開宴）

＜編集後記（順不同）＞

★今回の編集に際しては私自身のタイムカプセルを開ける良い機会となりました。今回投稿下さった内容に合う写真はほとんど無く残念でしたが、私の心に当時の懐かしい良き思い出が蘇りニヤニヤしながら編集作業に当たらせてもらいました。古希同窓会での話題がたんとあるなぁ😊　　藤井幹也

★今回の投稿に際しては台湾旅行で４日間ご一緒させて頂いた方々と懐かしく次から次へと出たお話しを紹介しました。本当に高校時代に机を囲んで話した様子が重なりました。また、志津屋のパンが５０年以上経っても人気があり受け継がれている事にも驚き私達の同窓会も同じ様に続いて行くことを確信しました。　　清水（馬場崎）典子

★今回メルマガ編集委員をさせてもらい、私自身も皆さんの投稿から懐かしい記憶の扉を開けることができました。そこで「当時の校舎がどの様であったか」記憶を辿るべく堀川高校事務局に連絡してみたところ、当時の校舎見取図のみならず現在の校内見学まで話しが進みました。教頭先生はじめ職員の方々に大変お世話になりました。皆さん、お時間が許せば10月30日(金)の見学会にも是非ご参加ください。 そして校舎は違えど当時の空気を感じ、同窓会で新たな思い出の扉を開けてみませんか。　　鮒子田浩

★お忙しい中、原稿を書いて下さった皆様方、ありがとうございました。皆様の文章を読んで、私も一気に高校時代へタイムスリップいたしました。また、11月7日(土)に多くの同窓生にお会いして、懐かしい昔話が、出来る事をを楽しみにしております。能勢(直井)希久子

★メルマガに原稿を書いてくれた皆さんありがとう❗十人十色色々な思い出を共有出来ました。そして共通した思い出は、高校時代は純粋に心から楽しかったなぁと言うことです。ユーミンの卒業写真にあるように、あの頃の生き方を貴方も忘れないで、と言うフレーズを思い出して、是非あの頃に戻れるように同窓会に参加してください^_^　　浦上達彦

★原稿執筆いただいた皆さんありがとうございます。おかげ様で素晴らしい内容になったと思っています。怒濤のような古稀同窓会の年となりましたが、能動的に取組みながら楽しんでいます。是非皆さんと一緒に楽しみたいと思います。また忙しい中、突然に就任依頼を快諾いただき、執筆・原稿依頼・写真撮影・編集に奔走いただいた編集委員の皆さんにも心から感謝します。次回で第3回最後のメルマガとなります。今回企画に対するご意見・次回へのご要望ありましたら、是非編集委員宛にご連絡ください。　　曽根泰彦